



Title	躍動半島 : 戦心愛国班
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Citation	大阪朝日新聞
Issue Date	1943-01-15
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77288
Type	column
File Information	A018_02_03all_Part61.pdf



[Instructions for use](#)



躍動牛島

文 繪 鈴 堅 木 榮 山 太 郎 坦 氏 氏

戦ふ愛國班

近頃とは好意の表示を相互に期待し、動的距離は極めて近くとも社会的距離は頗る遠いからである、然し農村では住民が定着して生活内容も極めて相類似してゐるので農村の近頃は、近似的に團體組織をへ確立してゐる。出来や、並、は本來任、場合が多い、然し愛國班は農村の近頃の實行を國民の全般に制度化する。愛國班は任意な私的な近隣團體ではない、毎日に日章旗を高く掲げて統後を尊ぶ國民の隊形である一人も落伍してはならぬ國民隊の隊形である（監督紹介）鈴木氏は京政大教授、松山氏は群馬

動的距離は極めて近くとも社会的距離は頗る遠いからである、然し農村では住民が定着して生活内容も極めて相類似してゐるので農村の近頃は、近似的に團體組織をへ確立してゐる。出来や、並、は本來任、場合が多い、然し愛國班は農村の近頃の實行を國民の全般に制度化する。愛國班は任意な私的な近隣團體ではない、毎日に日章旗を高く掲げて統後を尊ぶ國民の隊形である一人も落伍してはならぬ國民隊の隊形である（監督紹介）鈴木氏は京政大教授、松山氏は群馬

動的距離は極めて近くとも社会的距離は頗る遠いからである、然し農村では住民が定着して生活内容も極めて相類似してゐるので農村の近頃は、近似的に團體組織をへ確立してゐる。出来や、並、は本來任、場合が多い、然し愛國班は農村の近頃の實行を國民の全般に制度化する。愛國班は任意な私的な近隣團體ではない、毎日に日章旗を高く掲げて統後を尊ぶ國民の隊形である一人も落伍してはならぬ國民隊の隊形である（監督紹介）鈴木氏は京政大教授、松山氏は群馬

③

外庄地帯などには殆ど知られない場合が多い、そこでは住民の移動が多く、その生活内容も相互に近しく相違はしてゐるから庄屋の卒